

事業優先順位		1 細事業: 歴史遺産活用事業					整理番号		04			
目的		市内の歴史文化遺産を活用した事業を実施し、市民のふるさとの愛着心を育むとともに、市外へ向けて市の魅力を発信する。										
目標		<ul style="list-style-type: none"> ・史跡烏帽子形城跡の保存管理及び整備のあり方について審議を行う。 ・文化財ボランティアを30人育成する。 										
事業実施主体		直営		事業開始年度		平成15年度		根拠法令		文化財保護条例第3条		
事業費・財源			平成24年度		比較				平成24年度		比較	
	事業費 (決算額) (千円)		2,077				総コスト (千円)		8,028			
	一般財源		1,441				内訳		事業費		2,077	
	国府支出金		317				人件費		5,951			
	地方債		0				公債費		0			
	シンポジウム資料代		94				一人あたり (円)		71			
	市史等販売収入		225				世帯あたり (円)		170			
			0				参考		職員数 (人)		0.75	
								再任用職員数 (人)		0.00		
今後の方向性		歴史遺産を活用し、魅力的な普及啓発事業を検討する。										
評価		妥当性		効率性		有効性		対象者		文化財活用の対象となる市民・市への来訪者		
		A		A		A						

事業優先順位		2 細事業: ふるさと歴史学習館事業					整理番号		05			
目的		郷土資料を収集し、地域に伝わる文化財の重要性を啓発する。文化財愛護の精神を醸成するために必要な事業を実施する。										
目標		入館者数5,000人をめざす。										
事業実施主体		直営		事業開始年度		平成24年度		根拠法令		河内長野市文化財保護条例第3条		
事業費・財源			平成24年度		比較				平成24年度		比較	
	事業費 (決算額) (千円)		14,700				総コスト (千円)		51,746			
	一般財源		14,323				内訳		事業費		14,700	
	国府支出金		81				人件費		3,571			
	地方債		0				公債費		33,475			
	体験学習用材料費		255				一人あたり (円)		458			
	市史等販売収入		30				世帯あたり (円)		1,097			
	コピーサービス料		11				参考		職員数 (人)		0.45	
								再任用職員数 (人)		0.00		
今後の方向性		展示や普及啓発事業をより魅力的なものとし、より多くの人々が訪れる施設となるようにする。										
評価		妥当性		効率性		有効性		対象者		文化財の活用の対象となる市民・市への来訪者		
		A		A		B						

細事業：歴史遺産活用事業

1. 烏帽子形城跡保存管理計画

史跡烏帽子形城跡の保存と活用をはかるため、史跡烏帽子形城跡保存管理・整備検討専門委員会を2回（8月・11月）開催し、史跡烏帽子形城跡の保存管理及び整備のあり方について審議を行った。

2. 烏帽子形城跡史跡指定記念シンポジウム

平成24年に新たに国の史跡となった史跡烏帽子形城跡について、当該史跡の歴史的価値を市民と共有し、史跡保存に対する意識を啓発するため、9月1日（土）にシンポジウムを行い、223人の参加を得た。

3. 文化財ボランティア養成講座

市民の学習意欲に応え、平成24年7月24日（火）～8月21日（火）にかけて全6回、文化財の保護・活用・調査等に参加する文化財ボランティアの養成を目指し、講座を実施した。延べ81名の参加者を得た。

4. ぐるっとまちじゅう博物館2012

市域全体を博物館とみため、各年度で地域を設定して文化財を公開する「ぐるっとまちじゅう博物館」について、平成24年度は松林寺・盛松寺・寺ヶ池公園・住吉神社を対象として実施した。平成24年10月25日（木）～10月28日（日）の間で延べ1,203人の参加者を得た。

5. 郷土・歴史学習事業

学校との連携事業として、市立小学校14校の3年生～6年生・市立中学校2校の1年生を対象として、年間49回、文化財担当職員が小中学校で郷土・歴史の解説を行った。

6. 文化財普及啓発図書刊行事業

発掘調査の結果をもとに市内の文化財についてより理解を深めることを目的とした普及啓発図書を刊行した。

・シリーズ河内長野の遺跡7 「西代藩陣屋跡 400～200年前（江戸時代）の河内長野」

発行部数 1,800部（小学校等配布用 1,500部 販売用 300部）

完売した図書を再刊行した。

・シリーズ河内長野の遺跡6 「烏帽子形城跡 600～400年前（戦国時代）の河内長野」

7. 文化財保護講座

近世の高野参詣や三日市宿に関して、講演会を10月31日（水）に行い、110人の参加を得た。

細事業：ふるさと歴史学習館事業

1. ふるさと歴史学習館展示

常設展示と共に、エントランス、収蔵庫、特別展示室を利用して、延べ12回の企画展を実施した。

<エントランス>

田植えの農具 6月2日～6月30日・縄文時代入門～わかりやすい縄文世界～ 7月14日～9月9日

実りの秋の農具 9月15日～10月28日・雛の道具～いとはんの小さな台所～ 2月16日～4月7日

加賀田中の「ふるさと学」 3月13日～4月14日

<収蔵庫>

節供幟 4月14日～5月27日

<特別展示室>

河内木綿～綿から木綿へ～ 5月20日～7月16日・奥河内の縄文時代 8月18日～9月30日

紺屋型紙～木綿に映える JAPAN BLUE～ 10月20日～12月9日

こまーしゃるあーと～明治・大正の広告展～ 12月15日～1月27日

ありがとう綿の里親さん！～綿の里親プロジェクト2012 2月9日～3月10日

2. ふるさと歴史学習館施設管理運営業務

市内で行った発掘調査の整理作業と共に、市民の郷土理解を深めるため、歴史・芸術・民俗などに関する資料を収集し、保管・展示を行った。展示など館運営にはボランティアの協力を受けた。入館者は5,901人であった。